

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

もう限界！一刻も早い新校整備計画を！

“知的障がい支援学校の新校整備を求める請願”署名運動を大きくひろげよう



11/23 JR東岸和田駅
和泉南ブロック

ますます悪化する知的障害支援学校の深刻な実態

多くの学校では、特別教室だけでなく、教材室や更衣室など本来子どもたちが学習をおこなう環境になっていない部屋まで「普通教室」に転用しつづけて、これ以上転用する部屋が無い深刻な実態があります。そのため、1クラスの人数を増やして「圧縮学級」にして対応せざるを得ません。特別支援学校設置基準において、1クラスあたりの児童生徒の人数は、小学部：中学部6人以下、高等部8人以下となっています。しか

し、小学部：中学部で10人前後のクラスを学年で複数設置している実態があります。さらに、学校の大規模化がすすむと、教職員配置の比率が低下します。400人規模の学校では、適正規模とされる200人程度の学校にすれば、標準法で計算すると教員数は15人前後増えます。「教員不足」のもと、「教員未配置」も常態化しており、学習環境はますます悪化し、教職員の長時間過密労働につながっています。

全国的に大規模校を調査すると、多くの県では、将来推計をもとに新校整備をすすめて、「過大・過密」解消をはかっており、一方で大阪府では新校整備が非常に遅れていることがあきらかになりました。

大障教をはじめ、府内の障害者団体では、障害のある子どもたちにあたり前の学習環境を整備することを求めて、「府内各地域に知的障がい支援学校の新校整備を求める請願」署名を7月からとりくんでいます。この7年間で、18万3908筆の請願署名を府議会に届けました。今年度は、私たちの運動の広がりによって、府議会や市議会においても「新校整備」が何度も取り上げられています。

9月には、大阪の障害児教育をよくする会と共催で「支援学校増設決起集会」をおこない、教職員はじめ、保護者、関係者が参加し、「署名を大きくひろげよう」と確認しました。

各分会での署名活動や

街頭署名宣伝のとりくみ

各分会では、教職員をはじめ、分会からPTAに働きかけ「今年も署名にぜひ協力したい」と取り組みがすすめられています。また大障教として、府立支援学校の「過大・過密」の現状と新校整備の必要性を市民に訴えるために街頭署名宣伝行動を計画しました。各分会・ブロック、地域よくする会などと共同で、この間府内9か所



10/29 中河内ブロック
JR近鉄東花園駅

「新校整備を求める請願」署名は、「子どもたちに豊かな教育を」「教職員を増やしてゆとりのある働きやすい職場環境を」という教職員の切実な願いに直接結びつく重要な署名です。2学期末から冬休みは署名をひろげる大きなチャンスです。府立支援学校で働く教職員のみならず、この機会にご家族やご友人分も含めた署名への協力をあらためてよ



11/3 「総がかり集会」
大障教執行部

宣伝行動をおこないました。今年度は、「昨年度より署名に協力してくれた」「訴えると快く署名してくれた」など、支援学校の実態が知られ、署名のひろがりを実感する声が各地から届いています。12月13日(土)には、JR吹田駅で15時から署名宣伝を予定していますのでぜひ参加ください。

2月府議会への署名提出に向けて、

さらにひろげよう



12/6 南海堺東駅
堺界北ブロック

びかけます。各職場でもさらなる署名のとりくみをお願いします。

大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/> Eメールアドレス：fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.

書記局の

ひるしゅう

大障教が加盟する府労組連(大阪府関連労働組合連合会)による秋季闘争で、府人事委員会勧告(10/22)ごとの賃上げが実現しました。全世代への賃上げは3年連続となり、とりわけ、先に出された国家公務員の人事院勧告同様に、初任給や若年層を重点に、中間層にも昨年を上回る給料表の改定や、再任用も含む一時金0.05月引き上げ、地域手当を1%引き上げる内容となりました。これを受け、首相交代の影響で国の改定は年明けとなる中、大阪府では差額支給が12月26日(予定)に支払われます。(大阪市・堺市を除く)

また、非常勤の病気休暇10日の有給化、通勤手当認定の緩和、交通用具使用者に対する駐車場等の手当などの前進を勝ち取ることもできました。加えて、長年にわたり要求し続けてきた「常勤の非正規教員の2級適用」について、改定給特法の付帯決議や国の通知の内容を踏まえ、その取扱いを「研究する」との回答が示されたことは大きな前進です。

一方で、教員未配置「穴あき」の改善や「前倒し任用の拡大」などの要求については、国以上の改善は見られず、納得できるものではありませんでした。さらに、「物価高騰に見合う大幅な賃上げ」「評価・育成システムの撤回」や「長時間過密労働の解消」といった重要な項目についても、最終回答は深刻な職場実態や私たちの切実な要求とは大きな隔たりがあるままです。

今回の賃上げを含めた労働条件改善のようにより、教職員の圧倒的な声に支えられた要求を当局に突きつけ、粘り強く交渉したたかうことが要求を実現させる力となります。ぜひ、大障教にご加入いただき、ともに職場の要求を実現させるために力を合わせましょう。

実践をもとに学び合い、語り合い

教育のつどい大阪2025 問題別分科会

11月22日、教育のつどい大阪2025中河内ブロック集会の問題別分科会が、東大阪市立盾津東中学校で開催されました。教職員・保護者・市民ら140名が参加し、実践をもとに学び合い、語り合いました。

障害児教育の第1分散会

では、大障教から奥正行さん(思斉支援)が『楽しく

「からだ」を動かしたい!

と題して、レポート報告を

「2年間持ち上がった18人の子どもたちとともに」

行いました。奥さんは体育の授業で、



原水爆禁止世界大会IN広島に参加して

「沈黙は容認に近い」 佐野支援分会 北坂 彩華

「これまで核戦争が起きなかったのは、運がよかったからです」衝撃でした。戦後80年のいま、この世界大会で感じたのは、かつてなく人類が核による絶滅に瀕している、という圧倒的な危機感です。「我々の余命を心配するより、自分の命を心配してください。世界が減るほうが先かもしれませんよ」との被爆者の声も衝撃でした。世界平和という願いが「いつか」ではなく「緊急に」実現させなければならない状況です。

80年間の沈黙を決死に破り、凄惨な記憶をひもといて、戦争体験を伝えようとしてくださっている被爆者の方々。そのお話はいま世界にむけられる、最も強い平和への訴え、そして警告であることを強く感じました。世界大会後、大阪でも被爆者の方のお話を聞くことができる機会があることを知り、参加を決めました。行動をせかすように、危機感が押し寄せてきます。

8月5日を取り上げているメディアが心にとまりました。未来のことを考えている子どもたち。私のいまが、当たり前にくると思っている明日が、一瞬にして奪われることを想像しました。こうやって、自分のこととして想像することを、やめてはならないと、心から訴えてきます。

「怒りましょう。知恵をしばらくしましょう。共に戦いましょう」子どもたちのために、私のできることから平和への行動を進めていきます。「沈黙は容認に近い」のです。



分科会で楽しく
実践を語るレポーター

「体を動かすってこんなに楽しいんだ!」「もつと動かしてみたい!」「私もやってみよう!」と思えるような活動を取り入れたいと思い、キャスターボードに取り組みました。取り組んでいく中で、受け身の姿勢が多かった子どもたちが主体的に活動していく姿や、苦手だった友だちと楽しく関わり合う子どもの姿など、子どもたちが楽しんで取り

組んでいる様子が語られました。子どもたちを見て、基本に立ちながら丁寧に実践を行っていく奥さん、何よりもとても楽しそうに実践を語る姿が印象的でした。レポート報告の後は、参加者と感想や日頃感じていることなど、交流することができました。学びあい、語り合うことの大切さを改めて実感した分科会でした。



組合の存在は、将来にわたって大切

高槻支援分会 岡本 万希子



私が組合に入ったのは、新任の頃です。当時、「ステキだな〜」「熱心だな〜」と魅了される先輩たちに出会い、その先輩たちと一緒に働いたり学習したり、そして遊んだりさせてもらう中で組合に

誘ってもらい、加入しました。

それから、辞めずに入り続けているのは、やはり組合の必要性を感じているからです。

子どもたちのことについて学んだり、教育環境や働く我々の職場としての環境について、考えたり取り組んだりできる組合の存在はやはり、将来に渡り大切だと思っています。

働いていると色々なことに遭遇し、悩んだり考えたり行き詰まったりします。そんな時に、一緒に考えたり取り組んだり学んだりできる仲間に出会える機会が増えること、仲間と繋がれることも組合の魅力の一つです。

第25回 障害のある子どもの教育を語り合う 全国学習交流集会 in 千葉

【開催日】2026年1月10日(土)~11日(日)
【記念講演(10日)】

「人間を大切にしよう」と

～障害のある子どものココロを理解する～
三木裕和さん(立命館大学教授)

【場所】浦安市文化会館大ホール 他
11日の分科会等は船橋市内

【参加費】3000円

※組合員は、参加費・交通費の補助あり
申し込み〆切は12月15日(月)です。
詳しくは案内ビラをご確認ください。